

■ 財団法人日本ボールルームダンス連盟 概要

団体名: 財団法人日本ボールルームダンス連盟  
(Japan Ballroom Dance Federation)

所在地: 〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町2-33-4 日本ダンス会館

設立: 平成4年3月

所管: 文部科学省 スポーツ・青少年局 生涯スポーツ課

組織

総局: 5総局 (北海道総局、東部総局、中部総局、西部総局、九州総局)

支局: 47支局

認定ダンス教室: 1,550教室

会員数: 約14,400名 (指導者資格所持者)

◆ 写真協力

江戸東京博物館  
横浜開港資料館  
月刊ダンスビュー

■ 再発行日  
2008年3月

■ 発行人

財団法人日本ボールルームダンス連盟  
「ダンスの日」プロジェクト委員会

■ 企画・編集協力

株式会社VAインターナショナル

■ 連絡先

財団法人日本ボールルームダンス連盟  
「ダンスの日」プロジェクト委員会  
TEL: (03) 5652-7351  
FAX: (03) 5652-7355  
Web: <http://www.jbdf.or.jp/>

無断複製転載禁止



財団法人 日本ボールルームダンス連盟 / 監修

■ JBDFってなに?



多くの観衆を魅了する競技会

昭和に入り、ボールルームダンスも人々の文化に定着しはじめました。戦後、「日本舞踏競技連盟」が設立し、競技としてのダンスに力が注がれるようになりました。その後選手は海外にも足を向けるようになり、選手の技術向上、ダンス教室の増加など、ダンスはますます日本人に溶け込むものとなりました。昭和25年5月、「日本競技ダンス連盟」と名称を変更し、平成4年3月、ダンス界では初めての公益法人として財団法人日本ボールルームダンス連盟(通称 JBDF) が誕生しました。現在JBDFには1,550軒の教室、約14,400人の会員が登録しています。彼らは指導者として各教室でのレッスンはもちろんのこと、選手として競技会に参加し、自らのダンスに磨きをかけている人たちもいます。JBDFでは、選手育成と技術向上を目的に、全日本選抜ダンス選手権や日本インターナショナルダンス選手権などの全国大会、各地域での地区大会など数多くの大会を開催しています。選手は大会を通じて芸術的競技スポーツの技術を磨き、表現力を習得し活躍の場を世界に広げています。

■ ダンス文化を未来につなげるJBDF

JBDFではダンス文化を未来につなげるため、平成6年、全国各地にジュニア・ダンススクールの開校や地域指導員の育成、小・中・高校の授業にダンスを取り入れるなど、子どもたちに向けた積極的な活動を行っています。さらに2005年から、ダンス界の“甲子園”と位置づけた、「小・中・高校生ボールルームダンス全日本チャンピオンシップ」を開催しました。JBDFでは、未来の世界チャンピオンがこの大会から誕生することを願っています。ボールルームダンスは子どもからお年寄り、さらに身体にハンディがある人までその人たちに適した楽しみ方があります。そんなダンスをもっと多くの人に理解してもらい、楽しんでもらうため「ダンスの日」を設定しました。2005年度はアマチュア地域協会主催のダンスパーティー、全国の認定教室での無料ダンスレッスンなどを行い、ダンスの魅力を伝えるとともに、ダンスを通じた地域交流にも貢献します。今後も様々なイベントを開催し、プロアマの垣根を越え、ダンスの魅力を全国の皆さんに伝えていきます。

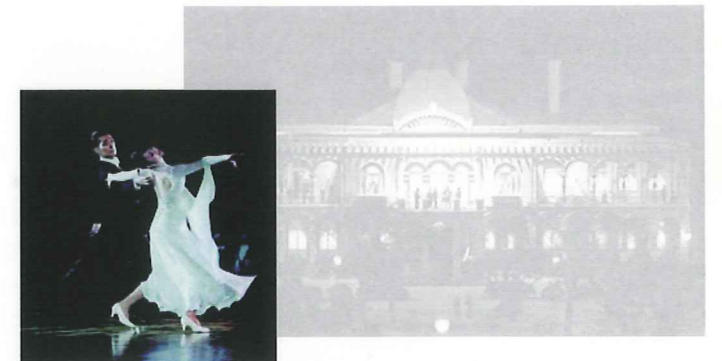


子供からお年寄りまで、ダンスの魅力を伝えるJBDFの取り組み



“Shall we dance?”  
—「ダンスの日」物語—

11月29日



11月29日は「ダンスの日」。財団法人日本ボールルームダンス連盟(以下、JBDF)は、2004年、この日を「ダンスの日」と設定しました。毎年11月には、この日を中心に全国各地でボールルームダンス(社交ダンス)の普及・浸透を目的に、ダンスを楽しむさまざまなイベントが行われます。この日が「ダンスの日」となったのは、約120年前、明治16年11月29日に鹿鳴館が開館したことに遡ります。鹿鳴館は東京、麹町山下町(現、千代田区内幸町)に西洋文化の起点として、政府によって建設されました。そこからボールルームダンスの歴史が始まりました。

